

広報



No.131

昭和59年5月15日

発行・編集 国見町企画課

お  
も  
な  
内  
容

佐藤・大波さんに消防庁長官表彰……	2
勤労者体育センターの落成式……	3
ふるさとの文化財……	4
内谷太々神楽……	5
おしらせ……	6～7
公民館だより……	8～9



'84

5月

ボランティア ②

— 桑の実文庫で読書活動 —

佐野一子さん

## 佐藤・大波さんに

### 消防庁長官表彰



長年にわたる消防人としての功績が称えられ、昭和五十八年度消防庁長官定例表彰、永年勤続功労章が、第四分団長の佐藤英治さん（西大枝字西八〇五十八歳）と、教養分団長の大波治男さん（徳江字雷神前三八〇五十八歳）の二人に授けられたのに伴い、去る三月二十六日、町長室で伝達式が行われ、町長から章記と記章が手渡されました。

二人は、ともに昭和二十二年に消防団に入団し、以来、実に三十六年余、消防人としての知識と経験を駆使し、現在、分団長として活躍しています。

佐藤さんは、昭和四十一年に分団長に就任、特に予防消防に努められ、消防水利の整備、婦人消防協力会の育成などに力を注いでおり、大枝地区は二十数年無火災の記録を更新しています。

また、大波さんは、昭和三十七年に福島県消防協会長から訓練指導員として委嘱され、教養訓練、規律訓練、ポンプ操法などの指導に当り、昭和五十一年に教養分団長に就任しました。

町長からねぎらいの言葉を受けた二人は、「今回の表彰を励みに、今後も、現状に対応できる消防体制造りを進めていきたい。」と、決意を語ってくれました。

## 消費生活相談員に

### 五十嵐さん



近年、新しい商品が数多く登場し、消費生活はたいへん豊かになりましたが、その一方で、

欠陥商品や新しい販売方法（訪問販売）の普及などで、消費生活に関するトラブルも増加傾向にあります。

こうしたことから、福島県では、日常の消費生活で生じたトラブルで困っている方々のために、市町村長の推薦を受け、県が委嘱した三十五名の方が、在宅消費生活相談員として、消費生活に関するの苦情や相談にに応じています。

当町の相談員は、五十嵐房子さんですので、お気軽にご相談ください。

自宅 山崎字大坂一の一  
☎八五二二五〇九

## 消費者物価モニターは

### 菅野さん



生活関連物資などの価格および需給動向などの実態を調査し、県民生活の安定向上を図るため、菅野好子さん（山崎字太子堂二一の一）が、福島県物価モニターとして県から委嘱されましたので、ご協力をお願いします。

## 環境モニターは

### 徳江さん



環境問題に対する国民の意見、要望などを全国的に把握するため、環境庁が委嘱する環境モニターには、徳江よね子さん（徳江字原一八）が委嘱されましたので、ご協力をお願いします。

### お詫びと訂正

4月号 4頁 特別会計老人保健

本年度額	前年度額	比較
44万円	43万円	1万円

とあるのは

本年度額	前年度額	比較
4億4,345万円	4億2,589万円	1,756万円

の誤りです。お詫びして訂正します。

県民の消費生活に関連の深い、

# 盛大に完成を祝う

## 「勤労者体育センター」

森山字上野台に建設し、四月一日からオープンした国見勤労者体育センターの落成式が、四月二十一日、同センターで行われました。

雇用促進事業団が八千九百万円をかけ、昨年九月に工事を着工し、鉄筋平屋建て、床面積九百六十一・三六四平方メートルの本格的体育施設で、この三月に完成しました。



式には、佐藤善右エ門町長、雇用促進事業団の仲川友之仙台支部長はじめ、県町関係者、議員ら百名が出席。佐藤町長式辞、仲川支部長あいさつ、のあと知事代理の佐久間庄一県商工部長、菊地政治町議会議長らが来賓祝辞を述べ、全員でジュースで乾杯し完成を祝いました。

### 〔40歳からの健康管理〕

## 老人保健事業をご利用ください

健康な毎日を送るには、日ごろからの健康管理がものをいいます。ジョギング、冷水まきつ、栄養のバランスに注意する……。みなさんにも自分なりの健康法があるでしょう。さらにその効果を上げるために、一度専門家のアドバイスを受けてみてはいかがでしょうか。

みなさんの健康を守るために、次のような健康管理のための事業が行われています。

#### （老人保健事業による健康管理）

★健康教育……①健康を保持増進するための日常生活の心得 ②健康診査の受診など定

期的に講じる健康対策 ③治療を受けるときの心得——などをテーマにした講演会を行っています。

★健康相談……体ばかりでなく心の健康についても相談に応じ、必要な指導・助言を行っています。

★健康診査……成人病の予防や早期発見のため、一般健康診査やがん（胃がん、子宮がん）の診査を行っています。

いずれも40歳以上の方が対象ですが、子宮がん検診は30歳からでも受けられます。

#### ●健康診査の内容

<p><b>一般診査</b>（受診者全員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●問診</li> <li>●理学的検査（医師による判定）</li> <li>●血圧</li> <li>●検尿（タンパク、糖の検査）</li> <li>●身体計測</li> </ul>	<p><b>精密検査</b>（一般診査受診者のうち、精密検査が必要と認められた人が対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●循環器検査（心電図、眼底検査、総コレステロール）</li> <li>●貧血検査（赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット）</li> <li>●肝機能検査（GOT、GPT）</li> <li>●血糖検査</li> </ul>
<p><b>胃がん検診</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●問診</li> <li>●間接X線撮影</li> </ul>	<p><b>子宮がん検診</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●問診</li> <li>●細胞診</li> <li>●視診</li> <li>●必要に応じて内診</li> </ul>

# ふるさとの文化財

②

## 町指定 深山神社

### 「回米の絵馬」

菊池利雄

西大枝の根岸に鎮座する深山神社には、幕末期の「回米の絵馬」が奉納されている。  
寛文四年（一六六七）上杉藩の半知削封によって、信達の両郡および出羽国の屋代郷（現山形県高畑町）は、幕領となり村々からの年貢米（御城米）は江戸へ回送されることになる。  
幕府は渡邊友以や河村瑞賢等に命じて、逢隈川（阿武隈川）の水路を改修させて、高畑の御城米は七ヶ宿街道を、小坂峠越えに伊達崎川岸などから、信達

の御城米は、福島・桑折・徳江・東大枝など各地の川岸から、五十俵積の小鶴飼船に積まれて、難所の猿渡を下り、途中の伊具郡沼上（現丸森町耕谷）で、百俵積の艀舟に積替え、河口の荒浜港へと運ばれた。  
ここからあるいは、更に小畑船で松島の寒風沢港に運ばれて海船に積替え、江戸浅草にある

幕府倉庫へと回米され、その用は幕末期におよんでいた。  
この「回米の絵馬」は、幕末期における西大枝の名主佐藤浅次郎が、荒浜港に出役して、御城米の積替え作業の監督にあたったときの光景を、同村の画家左州（佐藤名平）に描かせて、村ので、回米の安全を祈って、その鎮守である深山神社に奉納されたものである。  
江戸期の阿武隈川における回米や、舟運の状況について知るうえで、数少ない貴重な資料として、昭和五十八年に町の有形民俗文化財に指定された。  
参考文献  
国見町史 一卷



この「回米の絵馬」は、幕末期の阿武隈川における回米や舟運の状況について知るうえで、数少ない貴重な資料として、昭和五十八年に町の有形民俗文化財に指定された。

愛鳥週間  
5月10日～16日

## 鳥と仲良くなるために

バード・ウォッチングのすすめ



（鳥を見分けるために）

ふだんよく見かける鳥（例えばスズメやハト、カラス）の特徴を覚えてしましましょう。そうすれば、ほかの鳥を見たとき、今までに見たことのない鳥、どんな見分けられるようになります。

鳥の特徴をつかむコツは、鳥の大きさ、形、色、特に目立つ部分、鳴き声、しぐさなどを覚えることです。

（見るときの注意）

バード・ウォッチングで注意しなければならないのは、野鳥たちを驚かさなことです。鳥は特に音や光には敏感です。服装も、あまり派手なものは避け、自然の色に近いものを選びましょう。

人間は言葉や動作・表情などでお互いの気持ちや意思を伝え合っていますが、鳥たちはどうでしょうか。仲間同士の「心の交流」はあるのでしょうか。  
専門家の研究によると、鳥にもお互い意思を伝え合う世界があるということです。時と場合によって鳴き声（発声）や動作が微妙にちがったり、それらがある一定の集団行動に結びついていることなどから、鳥にも仲間同士の「触れ合い」があるとされています。また、群れの中ではリーダーシップが発揮されることもあるとのこと。  
こうした鳥の世界に、あなたも目を向けてみませんか。折しも新緑の五月。十日～十六日は愛鳥週間です。

（用意するもの）

▽双眼鏡（八倍くらいのもの）  
▽鳥の図鑑（まず最初は、小学生向けの図鑑で十分です）

# 神楽殿で奉納

——内谷太々神楽——

復活してから今年で三年目を迎えた。民俗芸能内谷太々神楽は、四月十九日、新築された神楽殿で奉納されました。当日は、みぞれ降るはだ寒い中にもかかわらず、詰めかけた地元の人たちは、熱心に見入っていました。太々神楽は、去る五十七年に三十一年ぶりに復活。全二十八座のうち今年は十四座を奉納しました。また、初めて郷土芸能を受け継ぐ小学生も舞を披露しました。



▲神召の舞



▲楽人

▲字賀 (種まき)

## トラフズクのはく製が 公民館に

本誌三月号で紹介したトラフズクのうちの一羽が、三月二十七日、羽にケガをし、飛べなくなっているのを玉手昭市さん(中部)が見つけた。

鳥獣保護員の長谷川義三さんがさっそく保護し、大玉村の鳥獣保護センターに収容しましたが、手当てのいかにもなく、死亡してしまいました。

このトラフズクは、三月中旬には山奥に帰るはずですが、何かに襲われたか、仲間われかでケガをしたものです。教育委員会は、死亡したトラフズクをひきとり、教育の教材として役立たせるため、はく製にし、公民館に保管してあります。



▲はく製になったトラフズク

## ■表紙

カメラ歳時記  
「ボランティア」

## 桑の実文庫で

## 読書活動を続ける



図書室を持ちたいと思っていた。母と子の公民館活動を手伝い、子どもの本に接するうちに、子どもの本に興味を持つようになり、この桑の実文庫を始めたんです。」と語ってくれました。

徳江にある徳江南部公民館で、毎月三回ずつ、子どもたちに図書貸し出しをしている方がいます。徳江字北畑四五の佐野一子さん(四十三歳)がその人です。

「現在、文庫の会員になっていない子は二十五人ほどですが、常時は十名ぐらい来ますが、数は少ななくても子どもたちと接することによって、お互いの親近感ができ、ほんとうにこの文庫をやって良かったと思っています。今後ますます続けて行きたい。」と話す佐野さんです。

佐野さんは、昭和五十一年から公民館で始めた、母と子の公民館活動の指導者の一人として子どもたちに読書の指導をしてきて、現在にいたっています。

その経験を生かし、昭和五十四年六月に「桑の実文庫」を始めたそうで、佐野さんは、「小さいときから、自分の家に小さな



**犯罪捜査にご協力を**

「私たちの街から  
犯罪をなくしましょう」

○被害にあったら、早く届けましょう。

○事件を知ったら「一〇番」犯罪現場はそのままに、届け出が遅れますと、証拠品がなくなったり、目撃者の記憶がうすらぎ、犯人の検挙がむずかしくなります。

「早い通報が犯人検挙のきめ手です」

○「聞き込み」にご協力を  
犯罪人が行うものです。必ず誰かが見たり聞いたりしています。犯罪捜査のため、警察官が聞き込みなどでお伺いしたときは、積極的なご協力をお願いします。

「協力をいただいた方に」ご迷惑をかけることのないよう十分配慮しています」

○犯罪について知っていることは、積極的に通報をお願いします  
桑折警察署 八二二五

**自動車税の税率が変わりました**

自動車税については、昭和五十四年度以来据え置かれてきましたが、その間の所得、物価水準などの推移を勘案し、昭和五十九年四月一日から、おむね  
一五%（営業用については五%）引き上げられました。  
※自動車税の納期限は五月三十一日までです。

軽自動車税の税率（年税額）			
区分	改正	現行	
原動機付自転車	50 cc 以下	1,000円	700円
	51 cc ~ 90 cc	1,200円	1,100円
	91 cc ~ 125 cc	1,600円	1,450円
軽自動車	軽一輪 126cc~250cc	2,400円	2,200円
	軽三輪	3,100円	2,850円
	軽四輪 自用	7,200円	6,500円
	乗用 営用	5,500円	5,200円
	軽四輪 自用	4,000円	3,650円
	貨物 営用	3,000円	2,900円
雪上車	2,400円	2,200円	
小型特殊自動車	農耕用	1,600円	1,450円
その他（フォークリフト等）		4,700円	4,300円
二輪の小型自動車 251cc以上		4,000円	3,650円

車種	排気量	額
小型乗用車	1,000cc以下	25,500円 29,500円
	1,500cc以下	30,000円 34,500円
	1,500cc超	34,500円 39,500円
ライトバン (1t以下)	1,500cc以下	12,500円 14,300円
	1,500cc超	14,000円 16,000円
トラック	4t超	22,000円
	5t以下	25,500円

**母子家庭に**

**医療費を助成**

今年七月から

今年七月から、新たに、母子家庭に対して医療費を助成することになりました。  
○対象  
母が昭和五十九年度町民税所得割非課税である母子家庭（母と十八歳未満の子）  
○助成額  
入院、通院それぞれ一件千円を超えた分  
○受給資格登録申請  
六月中に申請書を提出してください。

○問い合わせ  
役場住民課福祉係  
☎八五二二二二（内四二）  
有線四一六一

**福島テレビ (F.T.V) で 国見町を紹介**

福島テレビ (F.T.V) では毎月一回、シリーズで「わがまち」を放送しています。五月は左記の内容で国見町が紹介されます。  
○放送日時 五月二十七日 (日) 午前八時三十分から九時まで  
○紹介内容  
・史跡 (阿津賀志山防塁、八幡塚古墳、国見峠、小坂峠など)  
・内谷太々神楽  
・町の産業、農業  
・農業祭 (五月五日観月台公園)  
・建前風景  
・藤田病院  
など、盛りだくさんです。

みなさん、ぜひ、ご覧ください。



# 戸籍の窓口

(4月受付分)  
出生おめでとうございます

東部八南上北谷館寺 落  
町中山崎小 部  
町中大泉源耕山崎 部  
保藤戸波田藤地田田 護  
者勝邦幸忠 文正孝義博  
康光幸二 寿雄行雄博  
齋瀬大吉佐菊松吉 名  
りこ きみきしえ  
のみ たなゆたけ  
子ゆく だおうけき  
里子明美(史) 希ゆ  
友来え忠直勇丈有あ

ご結婚おめでとうございます

吉田栄作さん(山崎館) から  
市子剛子 雄子 浩子 彦子 裕子 幸乃 浩子  
貞栄 栄幸 弘幸 勝 恒光 絹俊 しのぶ 洋  
久野島田藤藤浦地間部田田妻山館  
佐丹児児鴨伊佐三菊赤阿吉吉我横平  
武佐仲藤阿奥佐久久大谷高吉縁

お祝い申し上げます

氏名	年齢	落	部
根七中城北坂北根田戸北四館	76	山崎	小
田町	82	山崎	小
山第泉高宮小源山貝大山山崎	77	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	66	山崎	小
郎ツウミ蔵ツナ義蔵助記蔵吉	66	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	73	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	86	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	74	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	83	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	81	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	77	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	75	山崎	小
三ハコトヨサハ正忠喜外長惣	80	山崎	小

## 人口と世帯

5月1日現在(前月比)4月中のうごき

男	5,863人 (-9)	転入	31人
女	6,187人 (-17)	転出	53人
計	12,050人 (-26)	出生	9人
世帯数	2,863戸 (±0)	死亡	13人

◆国見町自転車組合から  
空気入れ六本

◆仲野周蔵さん(泉田中)から  
二万円―故コウさんのご遺志

◆阿部晴己さん(宮町北)から  
二万円―故弓蔵さんのご遺志

◆武田勉さん(山根)から  
五万円―故三郎さんのご遺志

◆仲野周蔵さん(泉田中)から  
三万円―故コウさんのご遺志

町社会福祉協議会に

## 善意の窓

小坂小学校へ

◆仲野周蔵さん(泉田中)から  
児童図書(二万円相当)  
―故コウさんのご遺志

大木戸小学校へ

◆大木戸小学校父母と教師の会  
から  
鳥の飼育小屋

◆武田勉さん(山根)から  
五万円―故三郎さんのご遺志

アフリカ千ばつ救援金へ

◆吉田栄作さん(山崎館)から  
千円  
(前月号に記載もれがありました。)

した。おわびいたします。)

## 鉄道妨害防止運動 を実施



国鉄では、例年五、六月になりまして、自動車による踏切事故や子どもによる線路遊び、置石による列車支障などの事故が多発する傾向にあるため、五月二十七日から六月十五日まで「鉄道妨害防止運動」を実施することになりました。

○線路では  
―新幹線柵の中に立ち入らない。  
―線路に石を置くなどのいたずらをしてはならない。  
―線路で遊ぶ。  
―線路に物や石を投げない。

既線路の近くでタコ揚げをしない。

○踏切では  
―必ず一旦停止し、左右の安全を確認する。

二、踏切警報機が鳴っているとき、鳴り始まったときは絶対に踏切に入らない。

三、踏切でギアチェンジをしない。  
四、踏切でエンスト、脱輪したときは、あわてずに「非常ボタン」を押して列車を止める手配をする。「非常ボタン」のない踏切では、発煙筒や赤色旗または赤色灯などを振って列車に危険を知らせる。

※踏切事故は、列車の安全運転を支障するだけでなく、重大な事故につながります。十分に注意しましょう。

## 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間：9時～12時  
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。  
〔相談員〕  
5月25日(金) 桜沢 正・吉田とし子  
6月5日(火) 鈴木 正雄・山内 聡子  
6月15日(金) 遠藤 喜市・牧野 容子

## 5月 卓月(さつき) 6月 水無月(みなづき)

18日(金) 国際善意デー	1日(金) 気象記念日
20日(日) 森江野小運動会	4日(月) 歯の衛生週間
21日(月) 小 満	5日(火) 芒種・世界環境デー
27日(日) 藤田小運動会	7日(木) 計量記念日
30日(水) 消費者の日	13日(水) 満 月

# 公民館だより

## 昭和五十九年度 各教室が開講

### 高齢者教室

去る四月二十三日(月)町公民館講堂で、町長、桑折警察署長、町連合婦人会長、住民課長、生活環境係長、臨席のもと、学級生百三十八名が出席して開講式(交通安全大学証交付式もあわせて)が行われました。

開講式終了後、学習として、元中学校長、萩原盛良先生から「青少年の健全育成と高齢者の



国見町公民館  
☎85-2676  
(有)4156

役割」のテーマで講義が行われました。  
なお役員は次の通り決まりました。

- 委員長 藤田 勝衛
- 副委員長 吉田 嘉蔵
- 会計 阿部 重雄
- 庶務 佐久間いち
- 遠藤源五郎
- 菅野 シマ

六月の学習予定  
期日 六月十五日(金)  
○奉仕作業  
(古民家周辺の清掃)  
○学習

### 青年教室

町内に住む二十四歳までの青年の人たちの学習、交流の場としての青年教室が、四月二十六日開講しました。

当日、教育長、館長、町長から、教室開設の目的、意義などについて挨拶がありました。

続いて、今年度の役員選出が行われ、その結果、委員長に阿部博さん、副委員長に大波洋さ



### 体育指導委員 十五人を選出

町教育委員会は五十九年度(任期二年)体育指導委員十五人を選出、四月十九日午後七時から福祉センターで委嘱した。同

人、佐藤里子さんが選ばれました。

式終了後、レクリエーションに移り、自己紹介をまじえながら楽しく過ごしました。

尚、これからも参加できますので、希望されるかは公民館まで連絡ください。

### 六月の学習予定

ナイターソフトボール、「ボランティア活動について」、フリースタイル・宿泊研修

### 文化団体紹介

#### あつかし俳句会

会長 熊田 一陽

紙面の都合上、今年度における活動目標のみを紹介致します。  
『秀句は新聞の文芸欄に投句して、尚真価を問う。』

『町内の、俳句的に見た名勝史跡を一ヶ年計画位で探訪し作  
今月出句を左に、乞う御笑覧』

句する。  
三、本年十月満十五周年を記念し先例の三周年、十周年記念句集にならつて、句集を発刊し、役場、各学校並びに先師先輩方の靈に捧げたい。  
以上が三大目標で会員一同二十八名張り切つて句作に励んでおります。  
新人大歓迎、共に勉強しようではありませんか。

- \*桜咲きのぼりはためく不動祭
- \*花に臥てカラオケを聴く一日かな
- \*安達太良の頂き白く青き踏む
- \*土竜盛る湿度気土の春の庭
- \*ふる郷の瀬音高まり夕桜
- \*苗床を守りて一日の始まりぬ
- \*鯉のぼり孫も見て居る緑の端
- \*花冷や地蔵の頭布目に痛し
- \*先づく(に)われ生き抜けり啄木忌
- \*酒びんをわかせて花の庭かな
- \*とも角も生きて居てこそ桜咲く
- \*新築に日の丸天皇誕生日
- \*問ふまじき過去は過去なり花吹雪
- \*花の下つながら犬の背のびかな
- \*畑を打つ嬰嬢として老い見せず
- \*雨一日農家の憩い春庭
- \*箸止めて顔を見合わす初音かな
- \*春餅や土も息づくやわかさ
- \*仰ぎ見る花の上なる天守閣
- \*花の道家並の義務を果しつつ、
- \*辛夷咲く空より淡き風の中
- \*遠足にのこし小遣迷ひあり

- 牧野 武夫
- 佐藤 国樞
- 奥山 甲二
- 阿部 三樹
- 増田 三果
- 高橋 仙一
- 渋谷 良一
- 萩原 吐絹
- 熊田 一陽
- 鈴木 幸子
- 奥山 昭子
- 角田 昭子
- 藤田 勝衛
- 須田 泰山
- 佐久間 山月
- 原田 和喜
- 佐藤 洋子
- 小野寺 萬水
- 菅野 かね子
- 羽賀 えい
- 中村 カツ子



指導委員を中心に町スポーツの振興を図る。

町体育指導委員は次の通り  
佐藤元一、菅野文男、浅野靖  
(小坂地区)、古内清行、斎藤洋二、市川忠明、佐藤二三夫、羽根俊一(藤田地区)、佐久間憲一、斎藤規雄、小島重一(森江野地区)、渋谷薫、阿部松次(大木戸地区)、松浦幹男、鈴木一男(大枝地区)

### 女性

## 公認審判員誕生 高橋さん、松浦さん合格

ソフトボール公式戦の審判資格を認定する町体育協会主催の第三種公認審判員認定講習会は四月二十二日福祉センターで開かれた。県北地区では国見、安達のみで開催。

第三種公認審判員の場合、県大会レベルまでの公式戦の審判資格が得られるとあって各地区から、クラブチームの代表、体育指導委員ら女性四人(国見二人)を含む二十六人が受講した。午前中は県ソフトボール協会審判認定員の島貫広、阿部和男さんがルールについて講義したあとバーベキューが行われ、午後藤田小学校庭で実技が行われた。

町合格者は次の通り

高橋八重子、松浦文子、佐藤重雄、阿部敏雄、赤坂正弘、藤坂峰男、後藤直一、佐藤金広、市川忠明、松浦勝吉、佐藤正裕、大沼清人、小島重一、松浦幹男、佐久間正、奥山隆夫(十六名)

## 宮町クラブが優勝

### 家庭バレー部

### 結成記念大会

町体協家庭バレーボール部結成を記念する第一回家庭バレーボール大会は八日午前九時からオープンしたばかりの国見勤労者体育センターで開かれ、宮町クラブが優勝した。

町体協と同バレーボール部の主催で公民館が後援。同部は町内十四チームで三月一日結成し四月一日の体育センター完成を待って記念大会を開いた。

今大会は部結成の記念すべき大会で十一チームが出場。稲村けい子部長あいさつ、町長、町議会議長らの祝辞のあと熱戦を展開した。ママさん選手たちはビカビカの床の上でキュウ、キユと音をたてながら思いきりブレーを楽しんでいた。

成績は次の通り

①宮町クラブ ②石母田振興会  
バレーボール ③西大枝バレー愛

好会、源宗山クラブ



▲優勝した宮町クラブ

## 善意の窓

◆青年学生からコイのぼり  
五十八年度の学級生が、去る二月二十六日に行った「青春祭」でのバザーコーナー、軽食喫茶コーナーの益金で、コイのぼりを公民館に贈った。

さっそく公民館前の掲揚塔に掲げ、おとずれる人たちの目を楽しました。

◆保原町の大戸三郎さんから図書「郷土の歴史と大戸の歩み」三冊

◆線上松男さん(山崎小館)から一万円、故惣吉さんのご遺志  
◆秦三郎さん(大町南)が「シダレザクラ」を寄贈。植樹、

(町村合併三十周年を記念して)

## 会員募集

◆バスケットクラブ  
対象 一般社会人(男女)  
会費 年間三十円(運営費及び傷害保険料)

◆練習日 毎週木曜日  
時間 午後七時半～九時半  
場所 勤労者体育センター

◆申込先 吉田美智夫(会三三三) 大沼 隆雄(会望翠五)

◆ご一諾に願って  
みませんか?



▲風におよぐ

国見ダンス愛好会  
わが愛好会では、ソシアルダンス(社交ダンス)を主に、毎週月曜、センター講堂で活動しています。  
みなさんで、さわやかな汗を流してみませんか。  
興味のある方、一度おいでください。

初心者の方も、お気軽にどうぞ!  
練習日 毎週月曜日  
午後7:30～9:30  
場所 福祉センター講堂  
連絡先 松浦利枝(会五四四)

◆ゆっくり走んねがい!!  
我々の走ろう会はできたてのほやほやの会です。小学生以上の方、親子でお話ししながら走って健康な体を作りましょう。

◆健康な体は自分で作るものとして、守るもの  
連絡先 国見町公民館  
公社八五二二六七六  
有線 四一五六

## 生活文化 講演会のお知らせ

一、日時 五月二十八日(月)  
午後二時三十分  
二、場所 国見町公民館  
三、演題 「心とからだの健康と人生」について。  
四、講師 福島市  
ファミリー・カウ  
ンセラー 多田剛先生

一、主催 国見町新生活運動推進委員会



### 農業祭にぎわう

さわやかな五月晴れにめぐまれた五月五日、観月台公園で、恒例の農業祭が開かれ、町内外から訪れた買い物客でにぎわいました。

当日は、カゴやザル、ネギヤナスなどの種苗、青果物や海産物などの露店約二百四十件がな



▲子ども人気のヒヨコ売場

らび、それを買い求める親子づれなどを、終日、たいへんなごみようでした。

四年続きの冷害のためか、買い物客のサイフのひもはなかなかたたく、必要最少限にとどめていたようですが、子どもたちには人気のあるヒヨコ売り場は、今年も二羽、三羽と買い求める子どもたちで、売れ行きも上々のようでした。

また、町民体育館では、恒例となつた「第八回趣味の合同習作展」が開催されました。

こちらでも、買い物帰りの人たちでにぎわい、書道・写真・日本画・はり絵などの九十八点の作品に、ため息まじりで見入っていました。



▲合同習作展会場

### 縄文式時代の土偶見つかる

町文化財保護審議会委員の菊池利雄さんが、県立博物館の資料調査に当たっていたところ、石母田字樋口の高木万作さん方に、完全な形で出土するは珍しいとされている、土偶(どぐう)があるのを見つめました。

この土偶は、いまから四、五千年前の縄文式時代の土偶であり、その当時住居のあったと思われる石母田字樋の内(石母田城跡)地内の、耕地の土手から見つかったものです。

発見者の高木貫史君(県北中三年生)は、兄の誠司君(高校三年生)と、いまから六年前のある日、城跡の土手で遊んでいたところ、偶然つかんだ石くれ



▲貫史君と見つかった土偶

が、この土偶だったとのことで、当時、誠司君が小学校の六年生、貫史君が三年生でしたが、一目で貴重なものわかり、たいせつに保管しておいたものです。

菊池利雄さんは、「これからも埋蔵文化財が数多く発見されると思います。発見したら、町教育委員会に届け出るようにしてください」と話しています。

※土偶(どぐう) 古くから人物または動物を形どった土製品であり、縄文式時代に土偶がさかんに製作された。とくに数多く発見されるのは、その中期以後であり、宗教的・呪術的対象とされたと思われる。のちに、死者への供物、子どものおもちゃとしても用いられた。



▲館の内から出土した土偶

### ～国見町民憲章～

1. あたたく、たすけあう町をつくりましょう。
1. 楽しく働いて、豊かな町をつくりましょう。
1. すこやかで、よろこびに生きる町をつくりましょう。
1. 力をあわせて、すがすがしい町をつくりましょう。
1. 教育と文化を高め、希望にみちた町をつくりましょう。

### 編集日記

○四月下旬から始まったゴールデンウイークは、天候に恵まれたこの行楽地も混雑したようです。私も、サークルの仲間と、

ゴールデンウイーク最後の五月六日、船岡観音の花見と、仙台八木山動物園に出かけました。快晴の中、桜の花も満開で、風薫る五月の一日を満喫してきました。ただ、どちらも、たいへんな人出には閉口しました。

○五月十日から十六日まではバードウイーク。自然の中で、野鳥に親しみ、自然を保護する心を広げましょう。